

このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 ・本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
 ・ご使用前に本紙の「安全上のご注意」および取扱説明書の「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

このクイックスタートガイドには、コルポカメラを使用し始めるにあたって知っていただきたい基本的な操作方法がまとめられています。より詳しい情報については、下記のWebサイト「D'z IMAGE STORE」から取扱説明書をダウンロードして、ご確認ください。
https://dz-image-store.casio.jp/dl/ob_gyn/
 ・取扱説明書を見るためには Adobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見ることのできない場合は、「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

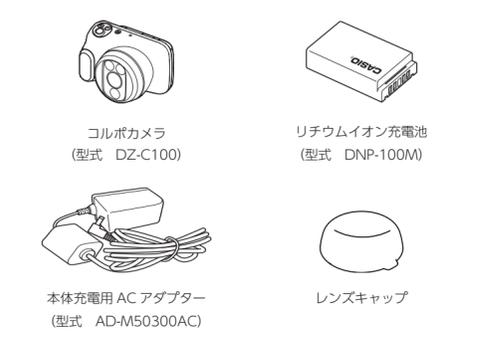
あらかじめご承知ください

- ・本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- ・万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- ・故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- ・本書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

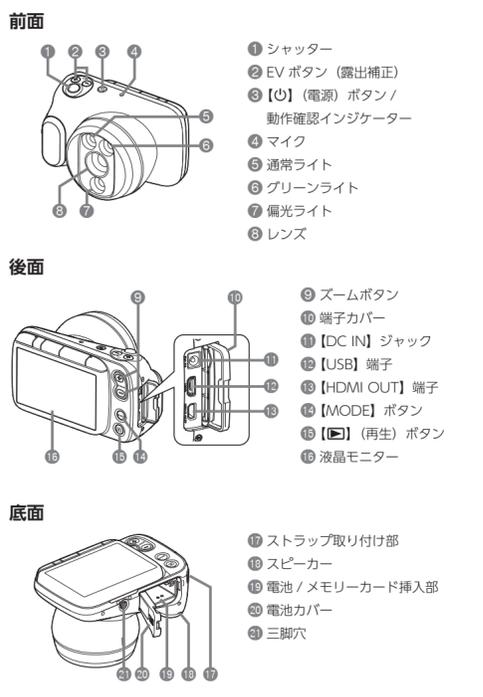
液晶パネルについて
 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

撮影前は試し撮り
 必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

付属品



各部の名称



電池とメモリーカードを入れる

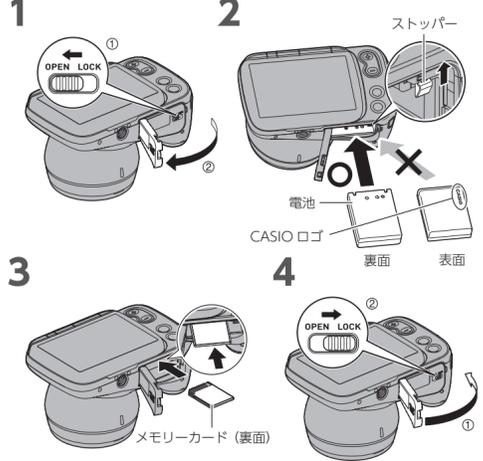
● 本機には、メモリーカードが付属されていません!

本機にはメモリーが内蔵されており、この内蔵メモリーだけで数枚程度の静止画や短い動画は保存できます。よりたくさんの画像を保存したい場合は、市販のメモリーカードをご用意ください。

- 使用可能なメモリーカードは以下のとおりです (2022年1月現在)。
- SDメモリーカード
 - SDHCメモリーカード
 - SDXCメモリーカード
- ・SD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、SDメモリーカードが2GB以下、SDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、SDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下です。
 上記のメモリーカードであっても容量をはじめ、すべてのカードで動作を保證するものではありません。

当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、D'z IMAGE STORE (<https://dz-image-store.casio.jp/>)にある取扱説明書をご覧ください。本書に記載の「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。

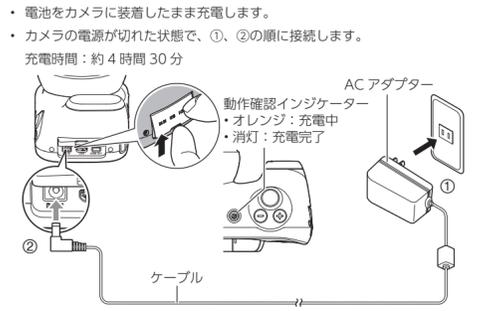
● 電池とメモリーカードを入れる



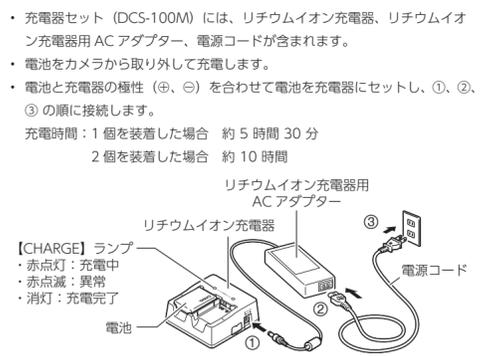
電池を充電する

以下の2つの方法で充電できます。

● 本体充電用 AC アダプター (AD-M50300AC) で充電する



● 充電器セット (DCS-100M：別売品) で充電する



※ 重要
 ・リチウムイオン充電電池 (DNP-100M) は本書指定の方法で充電してください。
 ・充電は、本書で指定した機器をご使用ください。指定以外の機器で充電した場合は、正しく充電できないことがあります。

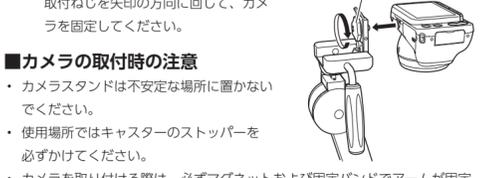
● 充電式電池の取り扱いについて (リサイクルのお願い)

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの排出協力店・排出協力自治体へお持ちください。
<最寄りの排出協力店・排出協力自治体へ>
 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
 ホームページ <https://www.jbrc.com/>

カメラスタンド (別売品) を準備する

カメラスタンド (別売品 CST-100M) を使うことで、観察・撮影の際の利便性が向上します。詳しい使い方はカメラスタンドの取扱説明書をご覧ください。

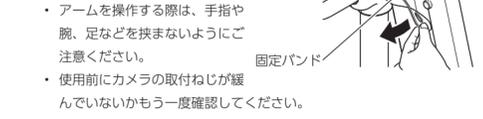
1 カメラ台にカメラを取り付ける



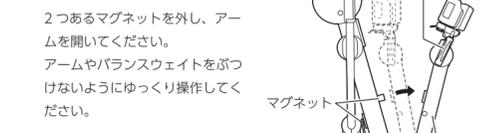
■カメラの取付時の注意

- ・カメラスタンドは不安定な場所に置かないでください。
- ・使用場所ではキャスターのストッパーを必ずかけてください。
- ・カメラを取り付ける際は、必ずマグネットおよび固定バンドでアームが固定されていることを確認してください。意図せずアームが開き、けがをするおそれがあります。
- ・取付ねじが確実に締まっていることをお確かめください。
- ・コルポカメラ (DZ-C100) 以外では使用しないでください。
- ・カメラの取付方向をお確かめください。

2 固定バンドをフックから外して開く

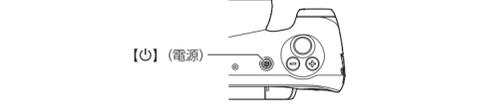


3 グリップを持って、アームをマグネットから外し、開く



電源を入れる

1 【○】(電源) を押して電源を入れる

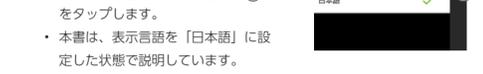


表示言語と日時を設定する

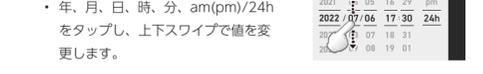
初めて電源を入れたときは、表示言語と日時を設定する画面が表示されます。手順に従って、設定してください。

1 電源を入れる

2 表示言語を設定する



3 日時を合わせる



4 【OK】をタップして設定を終了する

撮影の準備をする

1 電源を入れる

撮影モードになります。
 ・再生モードになっているときは、【▶】(再生) またはシャッターを押してください。



※ 重要

- ・電源が入らない場合、電池が正しい向きに入っていないことがあります。または、電池が消耗しているため、充電が必要な状態になっている可能性があります。詳しくは「電池とメモリーカードを入れる」または「電池を充電する」をご覧ください。
- ・レンズが予期しない動作をしたとき、エラー画面が表示され、電源が切れます。再度電源を入れても電源が入らない場合は、電池を入れ直し、電源を入れてください。

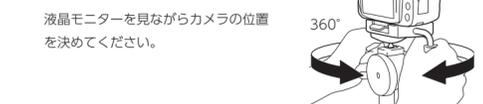
2 【MODE】を押して撮影モードを選択する

本機には3つの撮影モードがあり、【MODE】を押すごとにモードが切り替わります。



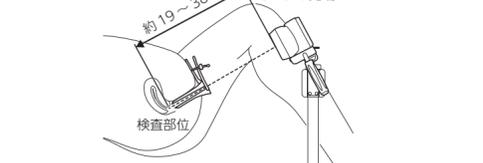
CONT	ワンシャッターで、同一画角の通常/グリーン/偏光*を連続撮影するときに使用します。 * 偏光設定がオンのとき、偏光撮影を行います。
SINGLE	静止画を1枚撮影するときに使用します。
MOVIE	動画を撮影するときに使用します。

3 グリップを持ってカメラの位置を調整する



■位置の調整時の注意

- ・撮影距離 (カメラの先端と検査部位との距離) の範囲は約19~38cmです。
- ・カメラスタンドに取り付けた状態で充電する際は、ACアダプターのコードが足に引っ掛からないようにご注意ください。



シャッターで撮影する

1 シャッターを半押しする

ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色になります。

2 カメラを固定したままシャッターを最後まで押し込む

撮影された画像が保存されます。

タッチパネルで撮影する

1 画面のフォーカスしたい位置をタッチする

ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色になります。

2 画面の【◎】(撮影) をタッチする

撮影された画像が保存されます。

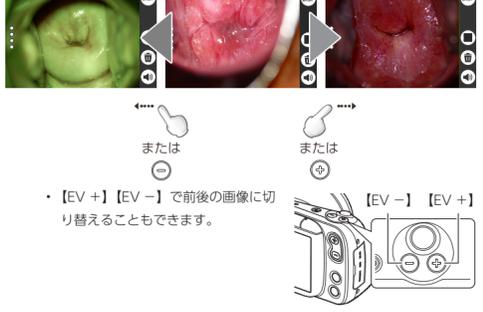
画像を再生する

1 電源を入れる

2 【▶】(再生) を押す

再生モードになります。

3 スワイプ操作で前後の画像に切り替える



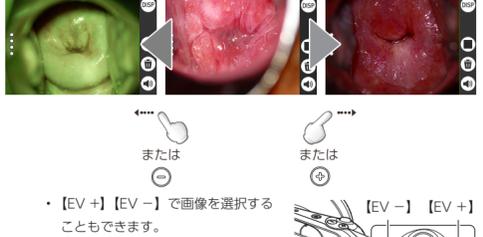
画像を消去する

1 電源を入れる

2 【▶】(再生) を押す

再生モードになります。

3 スワイプ操作で消去したい画像を選択する



4 【◎】(消去) をタップする

選んだ画像が消去されます。



画像管理ソフトを使用する



本機に搭載されている無線機能と画像管理ソフト“D'z IMAGE Viewer C”を使って、撮影した画像をお使いのパソコンに転送することができます。

1 パソコンに画像管理ソフトをインストールする

- 画像管理ソフト“D'z IMAGE Viewer C”は下記の Web サイトからダウンロードしてください。“D'z IMAGE Viewer C”の動作環境についても、下記の Web サイトでご確認いただけます。



ダウンロードした“D'z IMAGE Viewer C”のインストーラーをダブルクリックします。画面の指示に従ってインストールしてください。

2 カメラの無線機能をオンにする

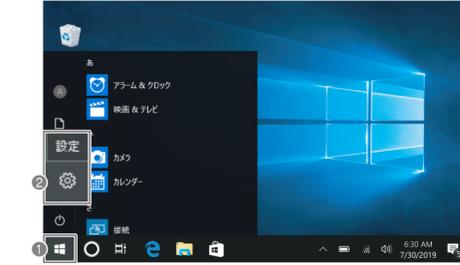
- 画面左端の (呼び出し) をタップします。
- をタップし、無線機能をオンにします。自動的に元の画面に戻ります。
- 無線機能がオンになっていることを確認してください。
 - 無線機能には、AP モードと STATION モードがあります。モードの設定方法については、D'z IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。



無線機能 オン表示

3 パソコンの Wi-Fi 接続を許可する

- 画面はお使いの OS バージョンやパソコンの設定によって異なります。ここでは Windows 10 のデスクトップ画面からの遷移を例にして説明します。
- Windows のデスクトップ画面の スタート から「設定 」をクリックしてください。



- 「ネットワークとインターネット 」をクリックしてください。

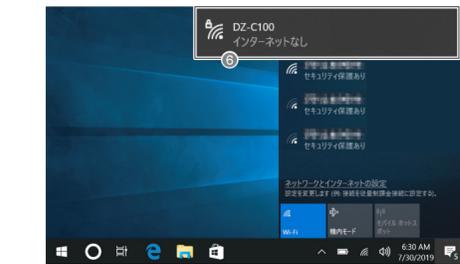


- 「Wi-Fi 」をクリックし、Wi-Fi 設定がオンになっていることを確認してください。
- 「利用できるネットワークの表示 」をクリックしてください。



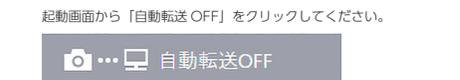
カメラの SSID を選択してください。
SSID：DZ-C100
パスワード：00000000

個人情報保護のため、パスワードの変更をおすすめします。パスワードの変更については D'z IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。



4 撮影した画像を D'z IMAGE Viewer C に転送する

パソコン画面上の“D'z IMAGE Viewer C”の をダブルクリックしてください。



「自動転送 OFF」から「画像転送中」に切り替わると画像転送が開始されます。撮影した画像が、“D'z IMAGE Viewer C”に保存されます。

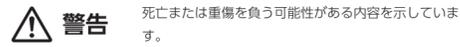


その他の画像転送方法

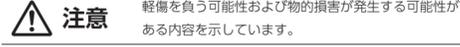
- メモリーカードまたは USB ケーブルを使って、本機の画像をお使いのパソコンに転送することができます。画像転送方法については、D'z IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。

安全上のご注意

- ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、取扱説明書の記載に従って、正しくお使いください。



警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

- 記号は「してはいけないこと」を意味しています (左の例は、ぬれ手禁止)。
- △ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています (左の例は、感電注意)。
- 記号は「しなければならないこと」を意味しています (左の例は、電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

AC アダプターについて

- AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。
 - 指定品以外の AC アダプターは絶対に使わない
- 電源コードは、必ず、付属品を使用する
- AC アダプターを指定の機器以外には絶対に使わない
- 電源は、AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントは使わない
- たこ足配線をしない
- 布団、毛布などをかぶせて使わない、器具のそばで使わない
- 重いものを乗せない、電源コードを束ねたまま使わない
- 重いものを乗せない、ケーブルを束ねたまま使わない
- 加熱しない、加工しない、傷つけない
- 無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない

- めれた手で電源プラグに触れない。感電の原因となります。
- AC アダプターや電源コードが傷んだら、「修理に関するお問合せ先」に連絡する。そのまま使うと、火災・感電の原因となります。
- AC アダプターは液体*のかららない状態で使用する。
*水やスポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など液体がかかると火災・感電の原因となります。
- AC アダプターや電源コードの上に花瓶など液体が入ったものを置かない。水がかかると火災・感電の原因となります。
- 外出時は、動物・ペットが製品に近づかないようにして、AC アダプターはコンセントから抜く。
- ペットが噛んだり、尿がかかると、ショート (短絡) による火災の原因となります。
- 雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。感電の原因となります

点灯中にのぞかない

- 点灯中に LED ライトをのぞきまなない。網膜に損傷を与える場合があります。

注意

AC アダプターについて

- AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。
 - 布団、毛布などをかぶせて使わない、器具のそばで使わない
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない (必ず電源プラグを持って抜く)
- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃する
- 電源コード (特に電源プラグやジャック部分) の清掃には、洗剤を使わない

取扱上のご注意

- 本機は精密機器です。特にレンズ部に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、下記の点に特にご注意ください。
- 撮影するときに、レンズ部をぶついたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないようにご注意ください。
 - カメラ本体をレンズで支えるような撮影方法など、レンズに強い力がかかるようなことはしないでください。
 - カバンなどの中に入れる場合はカメラに無理な力が加わらないようにご注意ください。特にレンズ部は、付属のレンズキャップをつけるなどして保護してください。
 - 落下防止のため、カメラスタンドに取り付けて撮影してください。
 - 落下させるなど強い衝撃をカメラに与えないでください。
 - 撮影時に患者の眼にライトが当たらないよう、カーテン等で仕切ったり、患者の眼を閉じたりした状態で使用してください。
 - カメラスタンドを収納する際は、必ずアームをたたみ、固定バンドをフックにかけてください。

外圧や衝撃、落下など取り扱い上の過失による、レンズや液晶モニター、内部基板などの破損が原因の故障修理は保証期間内でも有償となります。

使用上のご注意

● 使用環境について

- 使用可能温度範囲：10～30℃
- 使用可能湿度範囲：10～85% (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

● 無線機能 (無線 LAN) の使用上のご注意

- この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- 本機は米国再輸出規制 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

本製品には電波法に基づく工事設計認証 (認証番号：007-AH0009) を受けた特定無線設備を内蔵しています。

使用周波数について

本機は 2.4GHz 帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

周波数の見方について

無線 LAN この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用し、干渉距離は 20m です。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。また、2.4GHz 帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

磁気カードに近づけない

クレジットカード、キャッシュカード、プリペイドカードなど磁気を帯びたものを本機に極端に近づけないでください。磁気カードが使えなくなることがあります。

公衆 LAN への接続に関して

本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。

仕向地について

本機の無線 LAN 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

電池を長持ちさせるために

- 消費電力をおさえるため、本機にはスリープ機能とオートパワーオフ機能があります。
- 撮影モードで約 5 分間 (初期設定) 何も操作しないと、スリープ状態になり、液晶モニターと LED が消灯します。スリープ状態を解除するには、いずれかのボタンを押します。
 - スリープ状態に移行後約 10 分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます (オートパワーオフ機能)。

困ったときは

カメラの充電ができない

- 本体充電用 AC アダプターのケーブルを抜き差ししてください。
- カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。

電源が入らない

- カメラに電池が入っているか確認してください。
- 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください (本書「電池を充電する」)。充電してもすぐに電池が消耗する場合は、電池の寿命です。別売のリチウムイオン充電電池 (DNP-100M) をお買い求めください。

カメラの電源が切れない、ボタンを押しても動作しない

- カメラから電池をいったん取り出し、入れ直してください。

電源が勝手に切れた

- オートパワーオフ機能が働いた可能性があります。電源を入れ直してください。
- 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください。

ピントが合わない

- レンズが汚れている可能性があります。レンズの汚れをふき取ってから、もう一度ピントを合わせてください。
- シャッターを押して撮影する場合、シャッターを半押しせずに撮影すると、ピントが合わない場合があります。シャッターの半押しを確実にに行い、ピントを合わせてください (本書「シャッターを押して撮影する」)。
- タッチパネルで撮影する場合、画面のフォーカスしたい位置をタッチせずに撮影すると、ピントが合わない場合があります。画面のタッチを確実にに行い、ピントを合わせてください (本書「タッチパネルで撮影する」)。
- 撮影モードの設定が撮影シーンに合っていない可能性があります。【MODE】ボタンで、目的に応じた撮影モードに切り替えてください (本書「撮影の準備をする」)。

画像管理ソフト“D'z IMAGE Viewer C”と接続できない

- 本機の無線機能がオンになっていることを確認してください (本書「画像管理ソフトを使用する」)。
- モード設定が異なる可能性があります。無線機能のモード設定については、D'z IMAGE STORE に掲載の取扱説明書をご確認ください。

アフターサービス窓口について

機能・操作・購入先に関するお問合せ先

0120-088948
番号通知をお願いしております。
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合 ●音声通話定額制の場合
03-5334-4613

月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:00 (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)
●本体・別売品の使い方の窓口です。

修理に関するお問合せ先

0120-099775
番号通知をお願いしております。
<https://www.casio.com/jp/support/inquiry/186/>

●IP電話・公衆電話の場合 ●音声通話定額制の場合
0237-53-9775

月曜日～金曜日 AM9:00～PM5:00 (土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)
●故障診断・修理料金・修理期間等の窓口です。

本製品の修理サービスに関する業務は山形カシオ株式会社が担当いたします。
・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。